



東京湾再生官民連携フォーラム 平成 26 年度 第 4 回企画運営委員会

1. 開催日時 平成 27 年 3 月 19 日 10:00～12:00
2. 開催場所 スタндарт会議室 虎ノ門 SQUARE 店
3. 議事次第

《審議事項》

- (1) フォーラム平成 27 年度事業計画（案）について
- (2) CSR－NPO未来交流会（マッチング）について
- (3) 企業・行政等施設見学会について
- (4) フォーラム平成 27 年度総会開催日時及び開催場所について

《報告事項》

- (1) フォーラム平成 26 年度事業報告（案）について
- (2) 各PT平成 26 年度活動報告及び平成 27 年度活動計画について

4. 出席者

來生委員長、中村委員、岡田委員、中井委員、萩原代理、笛木委員、工藤委員、田久保委員、木村委員、竹口委員、田中代理、露木委員、端谷代理、小谷野委員、山田代理、堀口代理、山本代理、儀間委員、田中委員、林委員、須藤委員、安藤代理、細川（事務局）、森（国交省港湾局）

5. 議事メモ

5－1 開会

(1) 開会挨拶（議長）

- ・本日は、報告事項では本年度の総括をします。審議事項では、来年度のいろいろな活動についてご議論いただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

5－2 議事

《審議事項》

(1) 審議事項 1. 「フォーラム平成 27 年度事業計画（案）について」

【決定事項】

- ・フォーラム平成 27 年度事業計画（案）が事務局提案通り承認された。
- ・企業CSRとNPO等のマッチング交流会の開催、自治体、企業等の施設見学会等による交流の場の提供等を新たに実施していく。
- ・フォーラムホームページの情報の充実、フォーラムの概要、PT活動の情報提供、会員個々の活動等を載せて情報の発信、交流を図っていく。

【審議経過】

- ・会員数が若干頭打ち傾向にある。企画運営委員会のメンバーからもなお一層働きかけをしよう。



(2) 審議事項 2. 「CSR-NPO 未来交流会 (マッチング) について」

【決定事項】

- ・ CSR-NPO 等マッチング交流会の実施が承認された。
開催日時：7 月 16 日 (木) 13:00~16:30
開催場所：イイノカンファレンスセンター (東京都千代田区内幸町 2-1-1)
- ・ CSR-NPO 等のマッチングのための情報共有として、ポータルサイトを構築することが承認された。今後ポータルサイトへの情報提供依頼と、マッチング交流会の参加募集を行う。

【審議経過】

- ・ 東京湾に立地して、岸壁等、栈橋等を持たれている企業、ぜひ積極的に参加していただきたい。東京湾岸に立地する企業には積極的に声かけをお願いしたい。
- ・ 東京湾を巡って活動しているいろいろな団体には NPO という組織形態に限るわけではないと思う。官民連携というときの、民にも任意団体を含めていろいろな種類の民があって、そういうものの連携が一層強化されていくと良い。
- ・ NPO とか、市民活動関係のほうは、以前からこういう試みを度々開催されており、随分進化してきている。市民活動団体同士のつながりだけではなく、その中に漁師さんたちも入って一緒にやっているという流れになってきているので、よりおもしろくなってきているのではないのか。先行的な例も参考にしたら良い。
- ・ 目的、目標を考えながら実施し、実施後に目標が達成されたかどうか P D C A サイクルで反省し、次につなげるという態度で実施すべき。

(3) 審議事項 3. 「企業・行政等施設見学会について」

【決定事項】

- ・ 企業や行政が所有する環境改善、環境再生等に資する施設の見学会の実施が承認された。
- ・ 環境に関する行政の取り組みや企業の取り組みを見学することで、企業や行政への市民の理解を深めたり、交流の場の提供とする。

【審議経過】

- ・ まだ細部については詰まっていないので、実施に際しては、知恵をお借りする。各自治体や企業でもいろいろな活動があるようで、こういう面白そうな施設があるという情報は 4 月末までに事務局へ連絡をお願いする。いろいろな方法、やり方等について事務局に情報を提供していただいたり、事務局から質問しながらプランを固めていく。

(4) 審議事項 4. 「フォーラム平成 27 年度総会開催日時及び開催場所について」

【決定事項】

- ・ フォーラム平成 27 年度総会の開催日時、開催場所が承認された。
開催日時：10 月 24 日 (土) 10:00~12:00
開催場所：横浜赤レンガ倉庫 1 号館 3 F ホール (神奈川県横浜市中区新港 1-1-1)



《報告事項》

(1) フォーラム平成 26 年度事業報告 (案) について

【報告経過】

- ・年度終了前の暫定的な報告ではあるが、いろいろな意味で活動が進んできた。政策提案も実績ができた。大感謝祭も実行委員会、プロジェクトチームの努力で多数参加があった。

(2) 各 P T 平成 26 年度活動報告及び平成 27 年度活動計画について

【報告経過】

1) 木村 P T 長 (感謝祭 P T) から報告

東京湾大感謝祭 2014 の報告書が配布され、会計報告がなされた。東京湾大感謝祭 2015 については、

- ・開催日時: 10 月 23 日 (金) ~ 25 日 (日) 10:00~17:00 [展示は 24 日 (土)、25 日 (日)]
開催場所: 横浜赤レンガ倉庫 (1 号館 3 F ホール、広場)、横浜港で実施する。
- ・感謝祭は実行委員会方式とし、引き続き (株) 舵社 田久保氏を実行委員長とした体制とする。
- ・同時期に開催されるイベントについては、連携イベントということで、東京湾大感謝祭前後 1 ヶ月程度を関連イベントとして連携を図っていきたい。

2) 岡田副 P T 長 (生き物生息場づくり P T) から報告

- ・平成 27 年度に政策提案を行うことを目指す。P T 活動については政策提案をもって一区切りとするが、その後の活動についても引き続き検討していく。

3) 岡田 P T 長 (指標 P T) から報告

- ・当 P T のミッションが完了したと認められ、P T の解散が承認された。
- ・政策提案後の官との意見交換の状況や官側の要請を考えると、提案後のフォローアップが必要と思われる。指標フォローアップ P T の立ち上げについては、次回の企画運営委員会で提案する。
- ・P T の解散が承認されたので、平成 27 年度の事業計画から指標 P T を削除する。

4) 竹口 P T 長 (パブリックアクセス P T) から報告

- ・既存視点場の一覧化。そこへどう行くか。アクセスは困難ではあるが、どうしても行きたい場所があれば、そこを特定した上で、その関係者との協議に入りたい。
- ・海洋から行ける場所、さらにはインフラとはどうあったらいいかを考えていきたい。

5) 田中代理 (海水浴復活方策検討 P T) から報告

- ・昨年 12 月に東京都が長期ビジョンを作り、その中で葛西海浜公園を東京都が海水浴の運営をすることが発表された。



- ・水質浄化のやり方等いろいろな形を発表しながら現状認識を統一し、政策提案につなげていきたい。
- 6) 細川代理 (モニタリング P T) から報告
- ・平成 26 年の東京湾環境一斉調査報告として「東京湾環境マップ Vol.9」を平成 27 年 3 月に発刊した。江戸前アサリわくわく調査、マハゼの住み処調査といった P T の調査結果が活かされている。
 - ・平成 27 年度もアサリわくわく調査、マハゼの住み処調査を実施していく。また、東京湾環境一斉調査に参加していく。

(3) その他意見

1) フォーラム活動について：中井委員 (経団連自然保護協議会)

- ・ I S O 14001、環境マネジメントシステム国際規格が今年 8 月頃に改正される予定。改正で、新たに「環境保護」、「生物多様性」への配慮が要求され、改正後 3 年間で世界中の認証保有企業がシステムを移行しなければならない。
環境対策については、以前は公害対策など事業所単位での活動であったが、地球温暖化への関心が進むと、事業所単位から事業者単位での活動になった。そこに「環境保護」の項目が加わると再び流れが変わって、地元のステークホルダーとパートナーシップを組んだり、地域々々でやらなければいけないことが生じ、事業所ごとにやることが異なってくる。我々のメンバー企業でも、「どこで何をすればいいかわからない」という課題を持っている。そこで、こんな参加方法がありますよとか、このような簡単なことから参加できますよとか具体的な情報を官民連携フォーラムから頂けると、東京湾にある事業所なら強い興味関心を示すだろうし、経団連のメンバー企業でなくても、東京湾にある I S O 認証を持っている組織だったら積極的な検討が期待できる。トップランナー企業向けの先進的活動事例の紹介というよりも、小さな事業所でも取り組み可能なメニューとしての情報は参考になるのではないのかなと思う。

2) 東京湾大感謝祭出展について：森 (国交省港湾局海洋・環境課)

- ・ 2015 年の東京湾大感謝祭について、国の機関、自治体の方々にもより積極的にご参加いただきたい。東京湾再生会議、東京湾再生官民連携フォーラムにつながっている市町村が横の連携をしていると、出展することも可能ではないか。個別に出展していただきたいということもあるが、ぜひ横の連携をとって、東京湾再生会議、フォーラムに参加している自治体として出展していただくことで、予算措置も含めて今後ぜひご協力いただきたい。

以上